

所属：西武鉄道→国土計画

ポジション：DF

生年月日：1940年10月21日

出世地：カナダ

【プロフィール】ブリティッシュ・コロンビア大出身。カナダ代表としてオリンピックに3回（64年インスブルック、68年グルノーブル、80年レークプラシッド）出場し、19試合1ゴール、6アシスト、7ポイントをマーク。グルノーブル大会では銅メダルを獲得。世界選手権にも4回（65、66、67、69年）出場し、31試合1ゴール、5アシスト、6ポイントをマークし、66、67年には銅メダルを獲得。66年にはキャプテンも務めた。98年にIIHF殿堂入り。日本では71-72シーズンから77-78シーズンまでの7シーズンプレー。日本リーグでは西武鉄道で1回、国土計画で2回優勝。日本アイスホッケー界への影響は大きく、DFの重要性を再認識させ、DFは守りの要であることはもちろんだが、守ることだけではなく、攻撃の起点となることも知らしめた。

【レビュー】無理をしたプレーや派手な目立つプレーはしないスキのない堅守の確実なプレーヤーでした。持っているレベルは全体的に高いのはもちろん、人間的にも紳士そのもの。ポイントポイントで抑えており、相手に抜かれることはほとんどありません。ポジショニングも計算高く、ゲームメーカーでした。守りの確実さは、その後のチームのベースになるなど、影響は大きかった。ちなみに、特技は他人（星野）のスティックを使うこと。翌日の試合に備えてバランスの良いスティックを何本か用意しておくのと、翌朝には持っていかれて使われていましたよ（笑）。

【日本リーグアワード】

最優秀選手：第9回

ベスト6：第6回、第7回、第8回、第9回、第12回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
71-72	第6回	5	2回戦制	西武鉄道	1位	8	2	6	8	5
72-73	第7回	5	3回戦制	国土計画	3位	12	0	8	8	4
73-74	第8回	5	3回戦制	国土計画	2位	12	2	4	6	1
74-75	第9回	6	2回戦制	国土計画	1位	10	1	12	13	2
75-76	第10回	6	3回戦制	国土計画	3位	15	0	8	8	4
76-77	第11回	6	3回戦制	国土計画	3位	14	1	4	5	1
77-78	第12回	6	3回戦制	国土計画	1位	15	0	5	5	1
計						86	6	47	53	18

ジョー・グラント

Joe GRANT

所属：国土計画

ポジション：DF

生年月日：1957年1月23日

出生地：カナダ

【プロフィール】 トロント大出身。カナダ代表として80年のレークプラシッドオリンピックに出場し、6試合1アシスト、1ポイントをマーク。80-81シーズンはスウェーデンのエリートリーグでプレーした。

【レビュー】 テクニックはありましたが、そんなに派手な目立つプレーヤーではありません。DFでしたが攻めるのが好きでしたね。彼が国土を辞めたのち、ヨーロッパ遠征に行った際、訪問地（オーストリア・ウィーン）で偶然出会いました。彼曰く「その地でプレーしている」とのことでした。日本を去った後、ヨーロッパの地でプレーするプレーヤーが多くいましたが、彼もその一人です。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
81-82	第16回	6	6回戦制	国土計画	3位	27	4	7	11	12
計						27	4	7	11	12

第1版：2024年3月31日・記

ランディ・グレッグ

Randy GREGG

所属：国土計画

ポジション：DF

生年月日：1956年2月19日

出生地：カナダ

【プロフィール】 アルバータ大出身。カナダ代表、しかもキャプテンとして80年のレークプラシッドオリンピックに出場。80-81シーズンから81-82シーズンまで2シーズンに渡り国土計画でプレー。カナダに帰国後、エドモントン・オイラーズ入りした。88年のカルガリーオリンピックでカナダ代表に復帰した。オリンピックは2回出場し、14試合2ゴール、3アシスト、5ポイントをマークした。NHLキャリアは82-83シーズンからスタート。91-92シーズン終了後にバンクーバー・カナックスを引退するまでの9シーズンプレー。474試合41ゴール、152アシスト、193ポイントマーク。エドモントン時代には5回スタンレーカップを獲得した。引退後は医師を務めている。

【レビュー】 とにかく体が大きかった。細かいプレーや器用なプレーはあまりできませんでした。器用さはないがパワー全面のNHL好みのプレーヤー。サイズが大きいので、リーチもあるし、パックをキープすればスピードに乗り、体を生かして相手を抜けました。でもそこはDF。自ら攻め込んでいってもゴールを入れるのはあまりうまくなかった。体が大きいのでゴール前に攻め込む相手選手にとっては攻めづらかった。しかし、逆に彼は細かく動き、動きの早い選手を嫌っていました。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
80-81	第15回	6	4回戦制	国土計画	3位	20	10	12	22	4
81-82	第16回	6	6回戦制	国土計画	3位	29	8	10	18	13
計						49	18	22	40	17

第1版：2024年3月31日・記

所属：国土計画

ポジション：DF

生年月日：1951年8月26日

出生地：フィンランド

【プロフィール】70-71シーズンからフィンランドのトップリーグであるSMリーグのTPSなどでプレー。フィンランド代表としても80年のレークプラシッドオリンピックをはじめ、世界選手権は4回（74、76、77、81年）出場。オリンピックでは7試合1ゴール、3アシスト、4ポイント、世界選手権では35試合2アシスト、2ポイントをマークしている。第18回日本リーグの20ゴールは7位、19アシストは10位、39ポイントは10位の記録。

【レビュー】助っ人といっても派手なプレーをするわけではなく、堅いプレーをするプレーヤーでした。タンミネン（79-80シーズンと82-83シーズンから83-84シーズンに在籍）の影響もあり、意思の疎通も容易に取れました。個性的なスケATINGで、ゴールを入れるのがうまかった。ヨーロッパ合宿を行った際、彼の家のサウナに入った思い出があります（笑）。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
82-83	第17回	6	6回戦制	国土計画	4位	30	17	8	25	17
83-84	第18回	6	6回戦制	国土計画	2位	30	20	19	39	14
計						60	37	27	64	31

所属：国土計画

ポジション：FW

生年月日：1950年5月26日

出生地：フィンランド

【プロフィール】 フィンランドのトップリーグであるSMリーグのTPSなどでプレー。フィンランド代表としてオリンピックには72年の札幌大会に出場し、5試合1ゴール、2アシスト、3ポイントをマーク。世界選手権は10回（70、71、72、73、74、75、78、79、81、82年）出場、79、81、82年の大会ではキャプテンを務めた。世界選手権の成績は88試合23ゴール、23アシスト、46ポイント。また、76年のカナダカップに出場している。現役引退後は92年のオリンピックにはスイス代表監督、95、96年の世界選手権にはフランス代表監督、フィンランドやスウェーデンなどのチームのコーチを務めた。またテレビのスポーツコメンテーターとしても活躍した。

【レビュー】 外国人は最初、1人でやりたがります。一緒に組んでも何も言わずに好きなようにさせていると、しばらくすると1人ではうまくできないので、「一緒にやろう」となるのです。外国人とはそんな感じで接していました。彼も例外ではありませんでした（笑）。彼は強いシュートを放つのではなく、コースを狙って、ポイントへ打ってゴールを入れていました。パスを出せば入れてくれるプレーヤーです。ちなみに私（星野）のスティックはブレードとグリップを削って、彼とほぼ同じ仕様にしていました。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
79-80	第14回	6	3回戦制	国土計画	3位	15	10	13	23	1
82-83	第17回	6	6回戦制	国土計画	4位	30	19	32	51	12
83-84	第18回	6	6回戦制	国土計画	2位	30	24	27	51	10
					計	75	53	72	125	23

所属：国土計画

ポジション：FW

生年月日：1956年2月27日

出生地：フィンランド

【プロフィール】 フィンランドトップリーグ・SMリーグのキエッコレイパス、HPKなどでプレー。フィンランド代表として80年のレークプラシッドオリンピックに出場し、7試合、2ゴール、4アシスト、6ポイントをマーク。

【レビュー】 個人技に優れ、点を取るのがうまいプレーヤーでした。だからと言って、特別強いシュートを放つわけではなかったですね。テクニックやポジショニングが良かったです。特徴的なスケーティングをしていたのが印象にあります。私生活ではアルコール（酒）は大好きでしたよ（笑）!?

【日本リーグアワード】

得点王：第15回

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反	
80-81	第15回	6	4回戦制	国土計画	3位	20	20	17	37	1	
						計	20	20	17	37	1

若林 仁

Hitoshi Mel WAKABAYASHI

所属：西武鉄道→国土計画

ポジション：FW

生年月日：1943年4月23日

出生地：カナダ

【プロフィール】両親が日本人の日系二世。ミシガン大学時代、全米最優秀選手となる。アイスホッケーのみならず野球でもプロからオファーを受ける。1967年に来日し、第2回日本リーグから西武鉄道で、第7回日本リーグからは国土計画でプレー。78-79シーズンをもって現役を引退。その後、日本代表のヘッドコーチ（監督）として、79年の世界選手権と80年のレークプラシッドオリンピックを指揮。84-85シーズンから国土の監督に復帰し、93-94シーズンまで指揮を揮う。選手として日本リーグ優勝4回（西武時代2回、国土時代2回）、リーグ通算152ゴール、97アシスト、249ポイントをマーク。日本リーグ史上初の150ゴール達成。第4回日本リーグの対古河2回戦で1試合5アシストの日本リーグ記録（当時）を、第5回日本リーグでの対古河1回戦で1試合6ゴールの日本リーグ記録をマークした。152ゴールは歴代21位（1位は元王子の本間貞樹氏の287ゴール）、249ポイントは歴代36位（1位は元王子の鈴木宣夫氏の558ポイント）。監督としては日本リーグ優勝4回。これは歴代2位（1位は元王子の引木孝夫氏の8回）。218勝は元王子の引木孝夫氏の244勝に次ぐ2位。200勝勝以上の監督は2人のみ。若林修（元西武）は実弟。若林クリス（現・東北フリーブレイズ取締役兼総監督）はご子息。

【レビュー】体は小さかったけど、個人技はうまかった。特に前に出して引く縦のハンドリングに、相手チームは引かかかっていました。相手チームが突っかってかわされ5人抜かれて、最後はGKも引っ張り出されてゴールという伝説のプレーがあります。また人を使うプレーもうまく、セットを組んでいて、ここにほしいというところへパスを出してくれますし、ここにいてほしいというところにいるのです。とにかく空いているところへ動くようにすれば、必ずパスが来ました。セットを組んでいれば楽だと思いました。さらにフェイスオフも強かったし、シュートもうまかった。強いシュートを放つわけではなく、GKにとって手が出せないだろうといったところへ放つ、タイミングとコントロールの良いシュートでした。

【日本リーグアワード】

最優秀選手：第6回

ベスト6：第3回、第6回、第8回、第9回、第12回

得点王：第3回、第6回、第10回

アシスト王：第9回

ポイント王：第6回、第9回、第10回

選手

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
67-68	第2回	5	2回戦制	西武鉄道	3位	7	11	5	16	1
68-69	第3回	5	2回戦制	西武鉄道	2位	8	14	2	16	4
69-70	第4回	5	2回戦制	西武鉄道	2位	8	10	2	12	0

70-71	第5回	5	3回戦制	西武鉄道	1位	12	12	15	27	2	
71-72	第6回	5	2回戦制	西武鉄道	1位	8	19	10	29	1	
72-73	第7回	5	3回戦制	国土計画	3位	7	6	7	13	1	
73-74	第8回	5	3回戦制	国土計画	2位	11	16	11	27	0	
74-75	第9回	6	2回戦制	国土計画	1位	10	16	13	29	0	
75-76	第10回	6	3回戦制	国土計画	3位	15	24	10	34	0	
76-77	第11回	6	3回戦制	国土計画	3位	-	-	-	-	-	
77-78	第12回	6	3回戦制	国土計画	1位	15	14	13	27	0	
78-79	第13回	6	4回戦制	国土計画	2位	17	10	9	19	1	
						計	118	152	97	249	10

監督

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	W	T	L	P	
78-79	第13回	6	4回戦制	国土計画	2位	20	13	3	4	29	
84-85	第19回	6	6回戦制	国土計画	4位	30	13	4	13	30	
85-86	第20回	6	6回戦制	国土計画	1位	30	19	4	7	42	
86-87	第21回	6	6回戦制	国土計画	2位	30	20	4	6	44	
87-88	第22回	6	6回戦制	国土計画	2位	30	20	4	6	44	
88-89	第23回	6	6回戦制	国土計画	1位	30	21	6	3	48	
89-90	第24回	6	6回戦制	国土計画	2位	30	22	5	3	49	
90-91	第25回 F6	6	6回戦制	国土計画	R1位	30	22	0	8	44	
	第25回 F2	3	3勝先勝方式	国土計画	2位	5	2	-	3	-	
91-92	第26回 F6	6	6回戦制	国土計画	R1位	30	22	3	5	47	
	第26回 F2	3	3勝先勝方式	国土計画	1位	4	3	-	1	-	
92-93	第27回 F6	6	6回戦制	国土計画	R1位	30	22	7	1	51	
	第27回 F2	3	3勝先勝方式	国土計画	1位	4	3	-	1	-	
93-94	第28回 F6	6	6回戦制	国土計画	R1位	30	24	1	5	49	
	第28回 F3	3	3勝先勝方式	国土計画	2位	4	1	-	3	-	
R:レギュラーリーグ						R計	320	218	41	61	-
P:プレーオフ						P計	17	9	0	8	-
						計	337	227	41	69	-

第1版：2024年3月31日・記

所属：国土計画

ポジション：FW

生年月日：1947年9月21日

出生地：フィンランド

【プロフィール】日本リーグ初のフィンランド出身選手。フィンランドのトップリーグであるSMリーグのSaPKo、ヨケリット、TPSなどでプレー。76-77シーズンには、WHAでもプレーした。フィンランド代表として72年の札幌オリンピックに出場。世界選手権に8回（71、72、73、74、75、78、79、82年）出場し、66試合、18ゴール、10アシスト、28ポイントをマークした。78年の世界選手権ではキャプテンも務めた。79-80シーズンから2シーズン、国土計画でプレーした後、SMリーグ、西ドイツやデンマークのリーグなどでプレーをした。

【レビュー】ゴールを入れるのがうまかったですね。力強いプレーをするわけではないではないが、相手にとって抑えるのは大変だったと思います。また体は強かった。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
78-79	第13回	6	4回戦制	国土計画	2位	20	16	7	23	5
79-80	第14回	6	3回戦制	国土計画	3位	15	13	11	24	6
計						35	29	18	47	11